

2005年1/2月合併号 60年を迎える国連の矛盾

NI No.375 January/February 2005
Upside down: The United Nations at 60

< 内容 >
(本文は英語です)

矛盾を抱えた国連

その設立当初から、国家間の明らかな力のせめぎ合いが見られた国連。理念はそれによって影響を受け、結局矛盾を抱えたまま今日まで続いている。

国連システム

その迷宮の仕組み。

人道的な支援とは

国連の仕事は、地上の楽園の建設ではない。国連に対する誤った批判へ反論する。

スレブレニツァの記憶

国連軍の目の前で起きた虐殺から10年。生存者があの時を語る。

大空にも限界はある

排出権取引をめぐるビジネス界の不透明な動きについて。

国連 その事実

国連改革のポイント

世界の力関係を反映する国連。いかにして改革を進めていくべきか。どこへ行くのか？ミレニアム開発目標

ブルーウォッシュ

企業の環境への取り組みを印象付ける「グリーンウォッシュ」から、今度は国連との関係を印象付けるグローバル・コンパクトの活用へ。

揺りかごから墓場まで

イラクのあらゆる部分に影響を残した国連の経済制裁について。

人間的な開発の目安

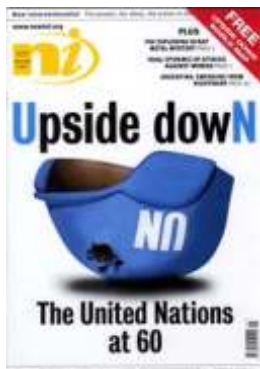
経済指標しかなかった開発の目安に、新しい考えをもたらした「人間開発報告書」。その特徴と役割について。

国連の歴史

コスモポリス

真の国際人となるために必要な人間性の再発見。

その他、世界の情勢を伝えるニュースやポートも掲載



2005年、人間で言えばそろそろ引退を考える時期に国連はさしかかる。今回の1/2月合併号では、国連の健康チェックを試みる。その巨大な組織はまだまだ働けるのだろうか？ それとももうお手上げ状態なのか？ 創設以来改革もなく活動してきたこの組織に対する評価は、期待通りだったともまったく期待はずれだったとも言えないものだ。イラク占領とブッシュ再選という状況の中、国連はこの時代に適合しなくなってきているのか？ それとも、まだまだ必要不可欠なものなのか？ 今日ほど世界中の人々が明白に共通の望みを抱いた時代はなかった。しかしまた、今日ほど考え方に共通点が見出せない時代もなかった。今回は、本来ならば人類共通の政治的な意志の力と民主主義的な正統性を備えるべき存在、しかし現実にはそうはなっていない国連という存在について考えてみよう。

NI-Japan No.63 2005年1/2月合併号
60年を迎える国連の矛盾

< 内容 >
(本文は日本語、一部英語です)

< NI本誌記事の翻訳 >

「矛盾を抱えた国連」
(NI本誌p9-12の翻訳)

「国連って何？」
(NI本誌p11とp23の翻訳)

< Reporting from Japan >

日本人に聞きました

「あなたにとって、国連ってなに？」

米国の応援団にすぎないのか？

- - 国連における日本の動き

~ 河辺一郎氏へのインタビュー

愛知大学教員。専門は国連問題と日本外交。主な著書に『国連と日本』(岩波書店)、『常任理事国入り』(岩波ブックレット)、『日本外交と外務省』(高文研)、『国連政策』(日本経済評論社)

< Country Profile >

「世界の国のプロフィール-アルゼンチン」

(NI本誌p40の翻訳)



NI (英語版、A4サイズカラー、約40ページ) と日本編集のNI-Japan(日本語、A4サイズモノクロ、12ページ)をセットでお届けします。

【年間購読(1・2月号は合併号のため年11回発行)】

1年間 10,500円(送料、消費税込み)

2年間 19,000円(送料、消費税込み)

【お試し用最新号またはバックナンバー】

1,000円(送料、消費税込み)

* ホームページでは、購読お申し込みやバックナンバー照会、無料メールマガジン申し込み等がご利用頂けます。



< お問い合わせ・お申し込み >

有限会社インティリンクス

〒193-0843 東京都八王子市廿里町46-2

Tel / Fax : 0426-29-4863

E-mail : info@ni-japan.com

URL http://www.ni-japan.com/